

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 伊崎佳那子
論文審査委員	主査 田中芳彦 印
	副査 橋本修一 印
	副査 稲井哲一朗 印
論文題目	Lipopolysaccharide induces bacterial autophagy in epithelial keratinocytes of the gingival sulcus
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>オートファジーは細胞質内の不要タンパク質を分解するとともに、細胞質内に侵入した病原微生物を処理する機能をもつが、歯肉溝上皮細胞におけるオートファジーの役割については不明な点が多い。本論文は、健常者の歯肉溝上皮細胞において細胞内に侵入した細菌に関わるオートファジーを検証し、歯周病原細菌 (<i>Porphyromonas gingivalis</i>) 由来のリポ多糖 (PgLPS) によってヒトケラチノサイト細胞株 (HaCaT 細胞) で誘導されるオートファジーについて解析したものである。その結果、歯肉溝上皮細胞においてオートファゴソーム関連分子の発現が増加しており、オートファジーが亢進していることを明らかにした。また、ケラチノサイト細胞株では PgLPS 刺激によって活性酸素種 (ROS) の産生を介してオートファジーが誘導され、細菌がオートファゴソームと共局在することが観察された。本研究は、歯肉溝における細菌感染への生体防御反応の機序の一部を明らかにした意義のある知見である。</p> <p>公開予備審査会、追加レポート、その後の追加審査において、論文提出者は研究の背景、目的と実験方法、得られた結果と考察について明確に解説し、質疑に対する適切な回答が得られた。本論文に関する十分な背景と知識をもち、研究成果への貢献を有すると評価できた。</p> <p>以上より、本論文を博士 (歯学) の学位申請論文として適格で価値のあるものと評価し、予備審査を合格と判定した。</p>	